

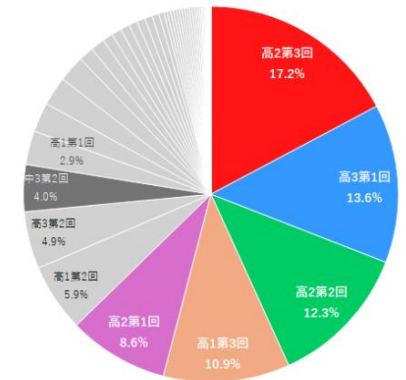
「準2級プラス」を受験する最適タイミングは？

～「2級」合格者の足跡にみる英語力の推移～

公益財団法人 日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定（以下、「英検」）では、本年度第1回検定より、準2級と2級の間に「準2級プラス」を新設いたしました。高校卒業時の到達目標とされる英検2級レベルの英語力（CEFR B1）の獲得に向けて、準2級プラスや準2級などの各級にいつチャレンジすればよいでしょうか。

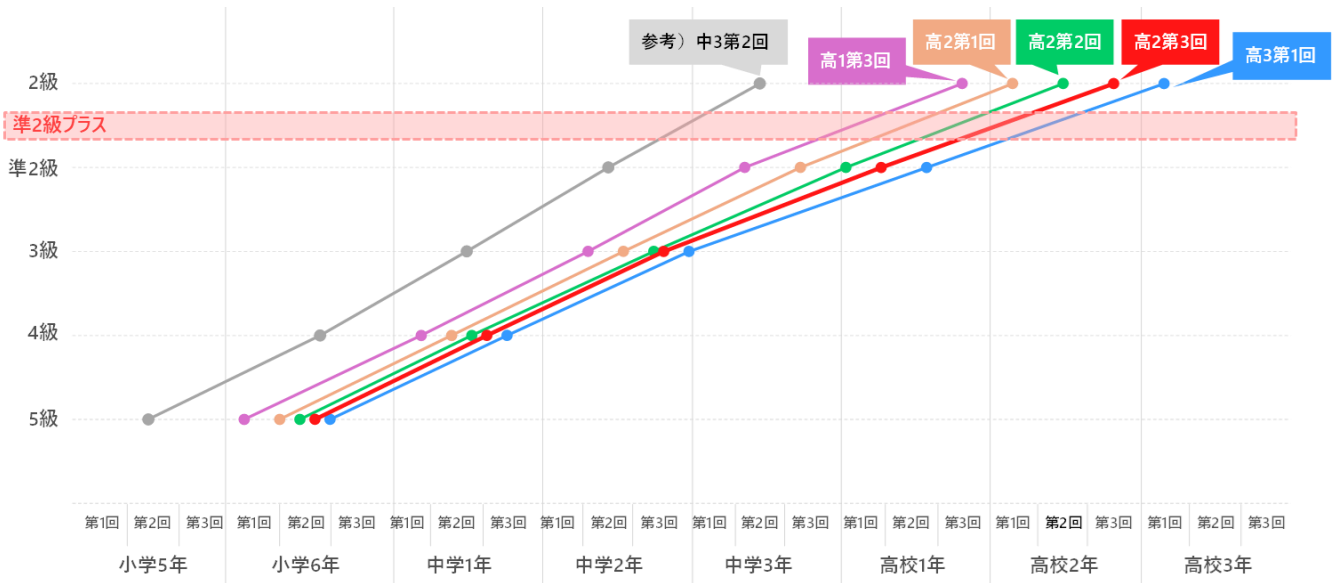
2級に合格された方の合格時期（円グラフ）をみると、「高2第3回検定」が最も多く、「高3第1回検定」、「高2第2回検定」と続きます。また、合格時期上位5群の英語力の推移（折れ線グラフ）をみると、それぞれの群の5級から2級までの平均的な足跡がわかります。受験者の皆さまは、ご自身の現在の英語力や、2級に合格したい時期から逆算して、具体的な学習目標を立ててみてはいかがでしょうか。

折れ線グラフからもわかるように、準2級合格から2級合格までの期間は、それまでの級の合格までにかかる期間に比べて長くなる傾向にあります。学習者の皆様が2級合格へのモチベーションを維持して英語学習に取り組んでいただけるよう、準2級から2級への橋渡しとして、ぜひ「準2級プラス」の活用をご検討ください。



2級合格者の合格時期

2級合格者の合格時期別 英語力の推移



- 2023年度第1回、第2回、および第3回の英検（本検定）における2級合格者を対象に分析した結果。
- 折れ線グラフは、合格時期別各群の受験者が取得した各級の時期を平均したもの。途中級をスキップした受験者も含む。
- 中3第2回は2級合格時期順では8番目であるが、参考として折れ線グラフに記載した。



【準2級プラス特設サイト】

準2級プラスの概要や特長、位置づけ、サンプル問題、審査基準はこちらをご高覧ください。

<https://www.eiken.or.jp/eiken/2025newgrade/>



※「英検」およびそのロゴは、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標または商標です。